

相談支援の基本的スキル獲得に向けた教育方法

名古屋市総合リハビリテーション事業団

総合相談部長

なごや高次脳機能障害支援センター参事

小島 一郎

このカリキュラムの流れ

時 間	内 容	担 当
16:10～16:25	導入講義 ・初任者研修の流れ ・「相談支援の実際」のポイント	小島
16:30～17:05	演習（テーマに沿った意見交換）	岡村・演習講師
17:05～17:10	まとめ	岡村

初任者研修の流れ

講義(2日分)

- ・「価値」「知識」の理解
- ・サビ管、児発管の基礎研修と共通内容

演習(2日分)

- ・「価値」「技術」の習得
- ・ケアマネPに沿って一通りやってみる(共通事例)

演習(3日分)

- ・「価値」「技術」の定着
- ・ケアマネPに沿って地域の事例でやってみる

個別相談: アセスメント



本人の意向→意思決定支援
地域づくり: 社会(地域)資源理解
協議会理解

Off-JT

インターバル
実 習

- ・基幹C等での助言
- ・社会資源の情報
- ・協議会の理解

OJT

継続的な人材育成

「相談支援の実際」(演習1、2日目)に盛り込むべき内容のチェック

	盛り込むべき内容	✓	工夫や課題
①	ケアマネジメントプロセスに沿った演習展開		
②	演習の目的に適したモデル事例の準備		
③	初期相談を想定した模擬面接、コミュニケーションへの配慮		
④	情報収集～ニーズ把握の思考過程		
⑤	ジェノグラムやエコマップといったツールの活用		
⑥	ストレングスモデル、生物・心理・社会モデル、ICF等の活用		
⑦	本人の意向とニーズ等、必要な視点を踏まえたサービス等 利用計画の作成		
⑧	計画作成におけるストレングス活用、インフォーマル活用		
⑨	模擬サービス担当者会議の体験		
⑩	モニタリングの理解と記録の作成		
⑪	相談支援の終結とセルフケアマネジメントへの移行		

グループワーク（～17:05）

	盛り込むべき内容	工夫や課題
⑦	本人の意向とニーズ等、必要な視点を踏まえたサービス等利用計画の作成	
⑧	計画作成におけるストレングス活用、インフォーマル活用	

- w1 個人ワークにて都道府県状況を振り返り（5分）
- w2 グループにて共有および改善策等について意見交換を実施（35分）

ワークシート

	盛り込むべき内容	工夫や課題
⑦	本人の意向とニーズ等、必要な視点を踏まえたサービス等利用計画の作成	
⑧	計画作成におけるストレングス活用、インフォーマル活用	